

2020インターナショナル小倉百人一首フェスティバル（大津市実施分）

“世界に広がる競技かるた” シンポジウム

「小倉百人一首競技かるた」は、近年、世界各地で愛好者が増えています。大津市では2018年、2019年に「おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」を開催し、世界の国・地域からそれぞれ7チームが参加しました（2018年：フランス、タイ、ブラジル、イタリア、ハンガリー、中国、アメリカ：成績順/2019年：フランス、タイ、チャイニーズタイペイ、韓国、ヨーロッパ連合チーム、インドネシア、中国：成績順）

シンポジウムでは、現在の海外の競技かるた事情を紹介しながら、実際に海外で活動中の選手、普及にあたった方、会場の競技かるた愛好者の声を聞き、競技かるたの世界展開に向けた可能性を探っていきます。日本人でも、一般にはまだまだ敷居が高いと思われる競技かるたに外国人はどんな魅力を感じるのか。「百人一首」「かるた」と言う2つの文化に対する受けとめ方と今後の普及に向けたポイントは何か。海外の選手から将来、名人、クイーンが生まれる可能性は…、などについて、幅広い視点から考察して、今後の指針を提示することを目指して開催します。

【実施日】 2021年6月13日（日）午後1時開場予定（休憩をはさみ2時間30分程度）

※当日、午前中に（一社）全日本かるた協会総会が開催されるため、開始時間は1時20分頃を予定していますが若干ずれることがあります。

【主催】 一般社団法人全日本かるた協会 大津市（主管団体：大津あきのた会）

2020インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバルは、東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラムに採択されています。

【会場】 近江勸学館（浦安の間） 滋賀県大津市神宮町1-1 近江神宮内

TEL 077-524-3905

【実施形式】

- 毎年、名人位・クイーン位決定戦や高校選手権決勝戦が行われる近江勸学館2階の浦安の間をメイン会場として海外3か所とリモートで結び、シンポジウムを進行します。会場にはおよそ30名の観客が入ります（感染症対策のため定員を通常の半分程度にしています）。
- 近江勸学館1階の朝日の間にもモニターとプロジェクターを設置して、シンポジウムの様子を観覧できます（定員およそ40名）。朝日の間にもカメラを1台設置し、会場から質問が可能とします。
- シンポジウムの模様は、全日本かるた協会の公式アカウントでライブ配信し、各地で視聴ができるようにします（配信については別途、全日本かるた協会HPを通じてお知らせします）。

【観覧方法】

○会場での観覧者については、近江勸学館のホームページを通じて募集します。

2021年5月20日より、先着順で受け付ける予定です（応募方法については近江勸学館HPを通じてお知らせします）

【問合せ先】

一般社団法人 全日本かるた協会 TEL 03-3943-3100

近江勸学館（一般財団法人 天智聖徳文教財団） TEL 077-524-3905

【出演者・近江勸学館会場】

- 優希美青（女優）：福島県出身、2012年に女優デビュー。「ちはやふる〜結び〜」では花野薫役で出演。映画出演に伴い、競技かるたの練習に取り組んだ経験や、海外の実情報告を踏まえて、「百人一首競技かるた」の魅力や課題などを率直に発言してもらう。
- 林 和清（歌人）：京都府京都市出身、在住。1962年生まれ。「玲瓏」撰者。現代歌人集会理事長、現代歌人協会会員。NHK文化センター、よみうり文化センターなどで百人一首、源氏物語などの講座を担当。海外の人の和歌への反応や百人一首文化への興味について紹介してもらう。
- 佐藤夏姫（大津市観光振興課）：大津市で百人一首観光プロモーション事業を担当。2018年、2019年の「おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」や、留学生を対象にしたかるたスクールなどの実施に関わる。外国人のかるたへの受け止め方や現場で感じた課題などを報告。

【出演者・海外リモート】

- マヤール・カンタン、 シャンバロン・マヤール・アマンディン（フランス）
ともに競技かるた歴6年、おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会の「かるたフランス」チームメンバーで有段者。フランスは競技かるたに取り組む国の中ではハイレベルを誇り、2019年には優勝。
- マルフ・アムリル（インドネシア）
アジアの中では競技かるたの歴史が新しいインドネシアの中心的存在。「ちはやふる」を通じて、競技かるたの魅力を感じたメンバーの多い、インドネシアチームをまとめて2019年の大会に出場。
- ストーン睦美（アメリカ）
全日本かるた協会海外普及担当者、中国、タイ、アメリカなど多くの国で競技かるたの普及に携わる。「おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」でも海外窓口としてコーディネートを担当。

○下記のテーマに沿って参加者の発言、報告をおこない、会場から質問をまじえてすすめていきます。

◇テーマ① 海外の競技かるた実情紹介

2018年、2019年の「おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」の内容紹介。参加者の感想を紹介するとともに、世界のどのくらいの国・地域で競技かるたに取り組んでいるのか、現状を紹介

◇テーマ② 普及に向けた苦労、体験

実際に各国で競技かるた愛好者を増やすために、今までどのような取り組みをしてきたのか、また、普及に向けてどんな問題があったかについて紹介。

◇テーマ③ 外国人が感じる「競技かるた」の魅力とは

海外では「競技かるた」の何に魅力を感じるのか、実際に何がきっかけで競技かるたに興味を持つ人が多いか、日本人との興味の違いはあるのか、などについて実情を紹介。

◇テーマ④ 日本文化と「百人一首競技かるた」

海外の愛好者には、和歌や日本文化に興味を持って、競技かるたを始める人たちもいる。ゲームではなく文化としての側面から、競技かるたの広がりの可能性を探る。

◇テーマ⑤ 海外から名人、クイーンは誕生するか

競技を行う上での日本人の競技者との違いは？、音の感じ方や試合のすすめ方など外国人ならではのものがあるのか、将来、名人、クイーンが誕生する可能性は…、など競技の実戦の側面から競技かるたの今後の展開を考える。

◇まとめ 普及に向けた提言

参加者の発言を踏まえ、今後、競技かるたをさらに世界に広げるための課題や提言を提示する。

※この他、ロシア、タイからのVTR出演等を予定しています。

（司会）名倉由桂：競技かるたタイトル戦のインターネット中継の司会、実況を数多く務める。2018年、2019年のおおつ光ルくん杯競技かるた世界大会でも司会を担当。